※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）情報活用	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	2027 大学入試短期集中ゼミ大学入学共通テスト（実教出版株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成しましょう。

２　学習の到達目標

・情報の各分野について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
・情報の各分野に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的に解決する力を養う。
・課題の各分野に関する課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、情報社会に主体的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	コンピュータ	コンピュータの装置と機能 入力装置 出力装置 記憶装置 制御装置・演算装置 インターフェース トラブルの対処法 情報のデジタル化 データの管理と活用 アルゴリズムとフローチャート	a:コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している b:コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について理解している c:生活の中で使われているプログラムを見出して改善しようとすることなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとしている	定期考査 タイピング フォーム 電子ファイル	定期考査 フォーム 電子ファイル	タイピング フォーム 電子ファイル
	情報通信ネットワークとデータの利用	情報通信システムとネットワーク LAN の利用 ネットワーク資源の利用 インターネット ホームページ 電子メール	a:情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び除法セキュリティを確保するための方法や技術について理解している b:データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善することができる c:情報システムにより提供さえるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用しようとしている	定期考査 タイピング フォーム 電子ファイル	定期考査 フォーム 電子ファイル	タイピング フォーム 電子ファイル
2	情報社会の問題解決	情報モラルと情報セキュリティ 知的財産権 個人情報、肖像権 コンピュータウイルス	a:情報に関する法規や制度、譲歩セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している b:目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている c:情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている	定期考査 タイピング フォーム 電子ファイル	定期考査 フォーム 電子ファイル	タイピング フォーム 電子ファイル

※令和４年度以降入学生用

	ICTを活用した問題解決	意思決定する問題 システムを設計する問題 不測の事態に対応する問題	a:情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している b:情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している c:情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている	定期考査 タイピングフォーム 電子ファイル	定期考査 フォーム 電子ファイル	タイピングフォーム 電子ファイル
3	プログラミング	プログラムの基本構造 変数 配列 探索 整列 HTML 言語	a:アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けている b:目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善することができる c:生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとすることなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとしている	定期考査 タイピング 電子ファイル	定期考査 フォーム 電子ファイル	タイピング フォーム 電子ファイル

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度